

月刊北國アクタス2018年9月号に 泌尿器科 喜久山 明 先生が登場!!

クスのアオキ ヘルスアップタイム

い、最終的には組織を採取して確定診断となります。

喜久山 ●治療法にはどんな選択肢がありますか。
喜久山 ●手術療法、放射線療法、ホルモン療法が基本です。放射線療法には体外から照射する外照射法と、放射線を出す小線源を前立腺に埋め込む内照射法があります。

生駒 ●それぞれの治療法の適応はどのようになっていますか。
喜久山 ●根治的治療としては、手術療法もしくは放射線療法が標準治療となります。中・高リスクのグループは放射線療法を行う場合、ホルモン療法併用することで予後改善することがわかっており、当院でこれに準じて行っています。

生駒 ●手術療法、放射線療法の住み分けは？
喜久山 ●患者さんの年齢や体力、ご希望なども勘案しながら選択することになります。私個人としては、70歳を過ぎた方であれば余命も考慮して、体の負担がより少ない放射線療法の推奨することを基本スタンスにしています。



「高精度照射による治療成績や合併症が改善した」と語る喜久山明氏

前立腺がんの放射線治療 高精度照射が著しい威力



(左から) 生駒友美氏、喜久山明氏、広瀬敏明氏
生駒友美氏 浅川クリニック(白山市) 院長
喜久山明氏 医療法人社団浅川浅川総合病院(金沢市) 泌尿器科部長
広瀬敏明氏 浅川クリニック(金沢市) 泌尿器科部長

延ばそう健康寿命
50代からのかがやき人生

前立腺がんの放射線治療が日 càng 普及し、進化を続けています。周囲の患者への悪影響を極力抑えながら、ピンポイントでがん細胞に打撃を与える高精度照射が普及し、治療成績の向上や合併症(有害事象)の低減を表現しました。

者さんが手術を希望される場合、ロボット支援手術を実施して、より精密な手術が可能になります。各医療機関で得意分野を生かしながら連携して、患者さんに合った治療法を提案させていただきます。

フリス ●手術療法は開腹手術からロボット支援手術への移行が進んでいるのですか。
喜久山 ●開腹手術に比べ、患者さんの体の負担が少ないですし、精密な手術が可能で、手術後の回復も早いのが特徴です。当然のことですが、当院は外照射法による放射線治療を中心とした治療を行っています。

生駒 ●手術療法は開腹手術からロボット支援手術への移行が進んでいるのですか。
喜久山 ●開腹手術に比べ、患者さんの体の負担が少ないですし、精密な手術が可能で、手術後の回復も早いのが特徴です。当然のことですが、当院は外照射法による放射線治療を中心とした治療を行っています。

喜久山 ●60歳を過ぎたら1年以内は受けていただきたいです。基本的には進行がそれほど早くないかと思いますが、年一回の検査で十分だと思います。
生駒 ●早期発見が増えてきたことで治療成績も良くなってきたかと思われまます。

喜久山 ●昨年の厚生労働省の報告では、前立腺がんが顕著されてからの5年生存率は57.5%と極めて高く、男性のがんの5割近くを占めています。早期発見だけでなく、治療技術の進化も治療成績の向上に貢献していると思います。

生駒 ●「やっ治すよ」がんの代表者さんですね。
喜久山 ●早期発見、治療のためにも、かかりつけ医にPSA検査の受診を積極的に申し出ていただきたいと思います。

喜久山 ●専門医による検査、超音波検査、MRI検査などを行

クスのアオキ ヘルスアップタイム



画像誘導システムを組み合わせたことで精度1/2以下の高精度照射が可能になった「フリス」金沢市小坂町の浅川総合病院

をコンピュータに取込み、放射線治療機、専用モニター、医学物理士が治療計画を策定します。

生駒 ●治療時間はどのくらいですか。
喜久山 ●1回当たりの照射時間は10分程度です。治療室への出入りを含めると15分程度です。ただ、照射は金曜日の毎日、計38回もしくは39回繰り返します。

生駒 ●治療時間はどのくらいですか。
喜久山 ●1回当たりの照射時間は10分程度です。治療室への出入りを含めると15分程度です。ただ、照射は金曜日の毎日、計38回もしくは39回繰り返します。



広瀬敏明氏

喜久山 ●外照射法では治療中に膀胱、排尿管、排尿管などが動き出すことがありますが、治療が終われば1ヶ月半の経過で軽快します。1年か数年後に起こる可能性のある血尿、血腫、血腫などは1例もありません。B1もほとんどありません。これ、高精度照射の成果だと自負しています。

生駒 ●池が自まじ放射線治療ですが、今後の課題は何ですか。
喜久山 ●一つは遠隔回数をいかに減らすかです。当院は月から1回当たりの照射回数から分割照射法を開発しました。これによって、38回もしくは39回の照射が標準でしたが、中・高リスクの患者さんに対しては25回もしくは28回に減らすことができました。

ACTUS 9
金沢城二の丸御殿
おかしや 虚血性心疾患
視覚障害者たちの戦争
2019年 第3号
敵を知り己を知れば 遠敵危うからず
読者の海平の ニュニコ100歳



喜久山先生が前立腺がんの放射線治療について話されています。ぜひご一読ください。